

山形県立荒砥高等学校 創立76周年記念式典

令和6年5月8日(水)山形県立荒砥高校76周年記念式典が行われました。荒砥高校は、まだ、戦後の混乱が続く、昭和23年、勤労青少年にも教育の機会を、という地域の熱い願いが実って、夜間定時制四年間の課程の高等学校として発足しました。働く青少年が学べる高等学校ができたという喜びに満ち、より高い教育を受けたいと渴望して、多くの青少年が、熱い思いで入学したということです。

現在の荒砥高校も、地域からの期待が高く、物心ともに多大な援助をいただいています。新入生に話を聴くと、入学したら勉強をがんばりたいという声が多くあります。学びたいという思いは、いつの時代も変わらないことがわかります。創立記念式典は、原点に返り、これまでの歩みを振り返りながら、今の学校や自分自身の今、未来を思い描く大切な儀式となりました。

さて、校歌の作詞は大木惇夫氏です。「母なる大地の懐に 我ら人の子の喜びはある 大地を愛せよ 大地に生きる～」で始まる合唱曲『大地讃頌』の作詞をなされた方です。爽やかに歌い継がれる素敵な校歌です。

校長式辞より抜粋

(略)本校のスクールミッションとして、基礎基本の学力をしっかりと定着させること、自分と他者を大切にしながら、豊かな人間性を育むこと、地域に貢献する人材を育成することの3つが、本校の使命とされました。(略)荒砥高校を七十年余りの長きにわたり支えていただいた白鷹町の地域の皆様をはじめとした多くの皆様に感謝する気持ちを忘れることなく、生徒、教職員みんなで「克己復礼」の実践に一層取り組んでいくことを誓い、式辞といたします。



▲♪さみどり香る～♪高らかに校歌を歌いました



▲新入生が入部しての初演奏です

令和6年度子供の読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰を受けました



本校の図書委員会では、平成13年度より、地域との連携を図り、白鷹町立図書館で開催されている幼児対象の「読み聞かせ」への参加を23年間継続しています。また、読書推進活動としてPOP制作も積極的に行っています。

今年度初回の「おはなしの会」は6月1日(土)白鷹町立図書館にて実施します。『スイミー』『おぼけのてんぷら』『サンドイッチサンドイッチ』を予定しています。絵本は読んだ時々でイメージが変わるものです。妙に感動したり、感慨深いものがあつたりしませんか。お時間があつたらぜひどうぞ